

南関町役場、公民館建て替え

3月に基本構想案

南関町役場と隣接する町公民館の建て替えを検討する審議委員会は21日、初会合を町役場で開き、来年3月末までに基本構想案、2017年度末までに基

本計画案を、それぞれ策定する方針を申し合

わせた。同委は策定後に町長に提案する。

築50年の役場と築39年の町公民館は老朽化し、耐震診断の結果で

補強不可能と判明。町は来年3月末に閉校する南関高の跡地で、19年度内に建設する方針を固めている。

初会合は非公開であり、有識者や町議、町幹部、町民代表ら委員19人が基本構想案などの策定スケジュールを確認。今後は5回の会合を17年度末まで重ね、規模や機能などを述べた。(前田晃志)



南関町役場庁舎などの建て替えに向けて初会合を開いた審議委員会＝同町

探る。

会合を原則非公開とする理由について、委員

会事務局の町まちづくり課は「町民代表の

委員が発言しやすい環境にするため」と説明。

会合の結果は、町のホームページなどで毎回公表する。

委員長を務める崇城大工学部の西郷正浩准教授(建築設計)は「建て替えだけでなく、町づくりを視野に入れ、

一帯が魅力的な空間となる提言をしたい」と述べた。

(前田晃志)